

Bibliomania

●読書インタビュー

読書について行本蓮先生にいくつかのインタビューしました。

Q どんな本を読みますか？

A 文学作品が多いです。

Q お気に入りの作家は？

A 村上春樹を愛読しています。短編・長編・エッセイなど、ほとんどの作品を文庫で持っています。

Q 一番お気に入りの作品は？

A 一番は決めかねますが、『国境の南、太陽の西』が好きです。次点で『羊をめぐる冒険』『風の歌を聴け』あたりです。

Q 印象に残っているセリフや場面は？

A 『羊をめぐる冒険』より、「歌は終わっていた。しかしメロディーはまだ鳴り響いている。」というセリフが好きです。もう一つ、『風の歌を聴け』より、「完璧な文章などといったものは存在しない。

村上春樹

国境の南、

太陽の西

完璧な絶望が存在しないようにね。」というセリフも好きです。理由はたくさんありますが、一言でいうと「おしゃれだから」。

Q 『国境の南、太陽の西』のあらすじを教えてください。

A 主人公の「僕」はすべて（ここでは、家族や仕事、社会的な立場）を捨てて、初恋の人と一緒にしようとして。体を重ねた次の日、初恋の人は、忽然と姿を消してしまい、帰ってくることを悟り、捨て去ろうとしたものをもう一度再構成しようとするところまでこの話は終わります。

Q 『国境の南、太陽の西』のオススメポイントは？

A 年をとる度に違った見え方ができることです。主人公の「僕」の心理描写は年を追うごとによく分かるようになっていきます。そのため毎年一回は本を開



くようにしています。

Q 『国境の南、太陽の西』から学んだことは？

A たくさんありますが、「死生観」は自分に強く影響をあたえました。後悔しない生き方がないように、後悔のない死に方もないということ深く考えさせられました。

Q 本を選ぶ時に重要視することは？

A 何度も読めるかどうかを基準にしています。一度読めば、あらずじが綺麗に説明でき、二度と開かなくなるような本はあまり好きではないです。

Q 本を読むことのおもしろさを教えてください。

A 本を読むと違う自分に出会えるところが面白いと思っています。もちろん内容が面白いというのは大前提として内容や心情を通して、「自分ならこう考える」や「自分はこう考えていたのか。」と思える部分が特に面白いと思っています。

《インタビュ어의感想》

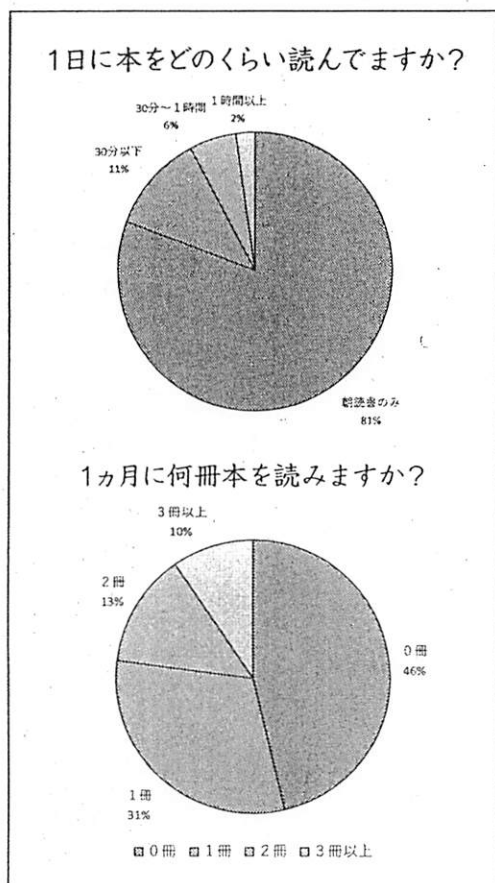
私は文学小説をあまり読まないのですが、このインタビュで文学小説のおもしろさに触れることができました。年

齢によって見方が変わる本は何度読んでもおもしろく、飽きることはないと思うので興味が湧いてきました。本を読むことで自分の人生がより豊かになるため、読書という習慣は大切なものだと思います。行本先生、ありがとうございました。

(26 HR 桑原・高木)

●読書アンケート

昨年度に引き続き、二年生全員を対象とし、読書に関するアンケートを実施しました。アンケート結果から私たちが気になった点を報告します。

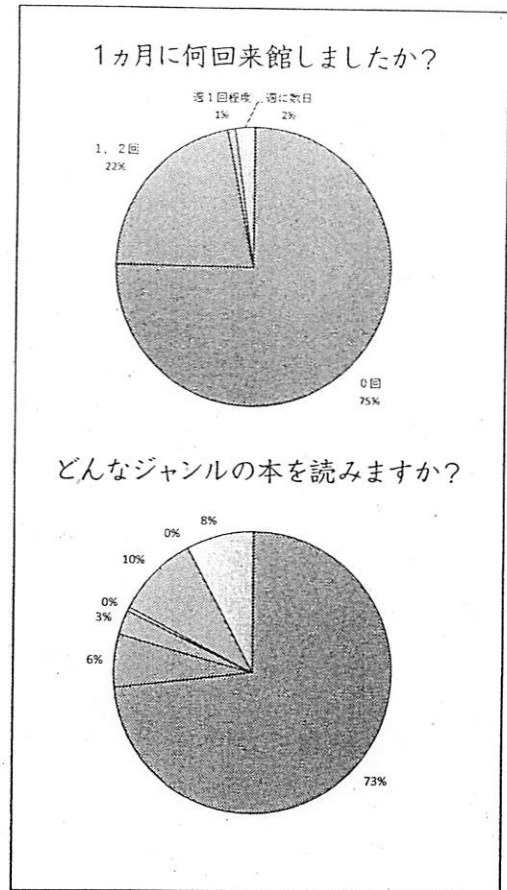


の外の楽しみが増えたりしたことが理由として考えられます。

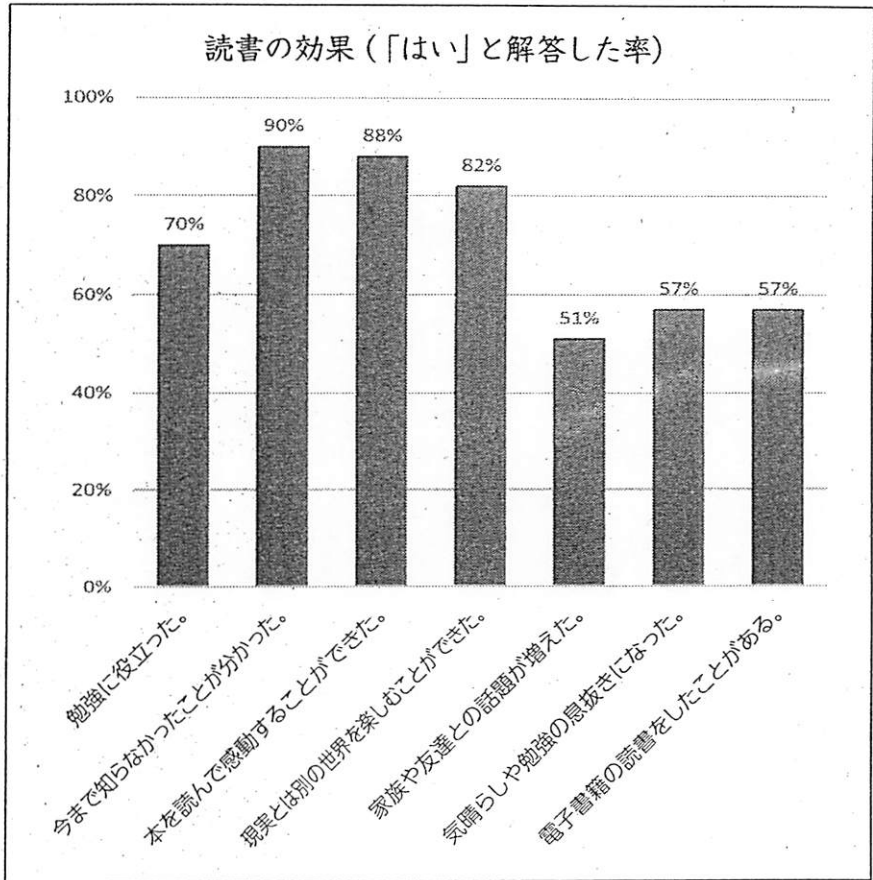


「一日にどれくらいの本を読んでいるのか」という質問からは、朝読書のみと解答した人の割合が昨年と比べて約十パーセント増加しました。そのため、一か月に読む本が0冊と答えた人も増加しています。

新型コロナウイルスの影響で、ゲームやインターネットなど家の中の楽しみがより充実したり、今まで制限さ



読書の効果（「はい」と解答した率）



今回「電子書籍を読んだことはあるか。」という質問を追加しました。電子書籍は持ち運びが楽で、いつでも簡単に読むものを選ぶことができるので、これからもっと電子書籍を読む人が増えると思います。

読書は勉強の役に立つと感じている人は増加しました

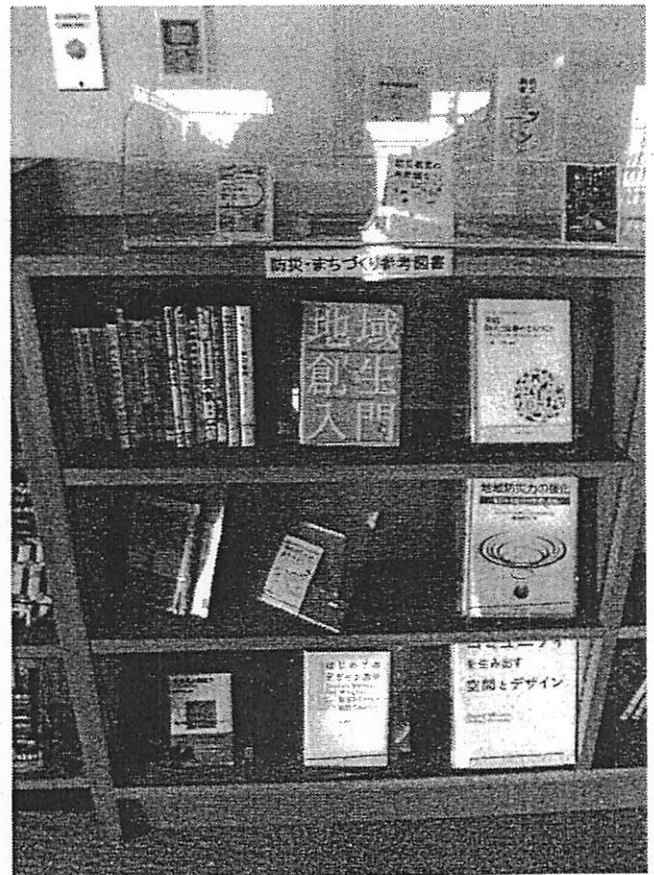
が、本を読むことを一つの楽しみとして感じてくれている人は減ってしまいました。みなさんに本を読もうという気持ちになってもらうため、例えば毎年一年生が行っているビブリオバトルのように、お互いのおすすめの本を紹介しあうイベントなど、よりたくさんの人たちに興味を持ってもらえる企画を私たち図書委員会で考えていきたいと思っています。

(21HR 落合・森田)

●図書館紹介

今年度、図書館に新たに「防災・まちづくり」の参考図書のコナーが作られたので、これについて紹介していきます。場所は図書館入り口のすぐ左手にあります。防災関連の活動をしている人はもちろん、そうではなくとも一人ひとりに関わることで、皆さんにとって役立つのではないのでしょうか。例えば「夢みる防災教育」、「地域防災とまちづくり」、「『サボる』防災で生きる」などの本があります。是非、一度図書館に足を運んでいただいで読んでみてください。

(24HR 境田)



●貸出傾向(四月～十一月末)

①貸出回数が多い本

1位 6回 有川浩 『三匹のおっさん』

湊かなえ 『カケラ』

藤白圭 『意味が分かると慄く話』

4位 5回 三浦しをん 『舟を編む』

6位 4回には『5分後に意外な結末』など、5分後シリーズが4冊入りました。一つの話が5分と短時間で読める

ので、朝読書や休み時間におすすめです。

②貸出が多い分類（総貸出冊数：1268冊）

1位 524冊 文学

2位 196冊 社会科学

3位 142冊 哲学

4位 119冊 芸術

5位 95冊 自然科学

③貸出回数が多い著者

1位 23回 鎌池和馬

2位 14回 東野圭吾

3位 11回 有川浩

4位 10回 山田悠介・住野よる

鎌池和馬は、『とある魔術の禁書目録』シリーズの作者です。このシリーズは本校図書館にも入っていて、貸出回数が多くなりました。東野圭吾は、ファンが多く、映画化の影響もあり、本校でも常に貸出されている作家です。

図書館には話題の本やベストセラー本なども多くあります。ぜひ利用してください。

